

コード	102010103
記入日	H25.7.30

新規事業評価表【事前評価】

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	竹内 和朗

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	しまとく通貨利用促進事業
----------	--------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10201	基本事業名称	地域間交流の推進	目コード	3
事務事業コード	1020101	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	1379
関連計画	長崎県離島振興計画 離島活性化交付金等事業計画	法令・条例規則等	離島振興法 離島活性化交付金交付要綱		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか (対象1) 観光客延数 (対象2)	対象指標：対象の大きさを表す指標 (対象指標1) 229,009人□(H24年実績) (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入 ・本町の観光としまとく通貨のPRのため、テレビCMの製作とTVスポット放送を行い、また、来島者の島内でのより一層の消費を促すため、加盟店紹介パンフレットの作成、のぼり旗の作成を行ない、しまとく通貨の島内での利用をサポートする。 →離島活性化交付金事業（魅力発信交流事業）	活動指標：事務事業の活動量を表す指標 (活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度) ① テレビCM製作(放映)のぼり旗制作 1.0式 CM製作2種類 テレビCM放映のぼり製作700枚 平成26年度 ② 加盟店紹介パンフレット・加盟店一覧表作成 1.0式 パンフレット2万部 一覧表5万部 平成25年度
目的：何をしたいのか ・しまとく通貨事業の目的と利点をより強くPRし、本町への来島を促し、来島した観光客には、少しでも多く消費してもらうことで、地域経済の活性化に繋げる。	成果指標：目的の達成度を表す指標 (成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度) ① 延観光客増加見込数 13,947人 H24：229,009人 年3%増 平成26年度 ② 経済波及効果見込額 145,048千円 10,400円/人 ×13,947人 平成26年度

実施 (DO)

	単位	全体計画		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
		H 25 ~	H 26							
活動指標	① 式	1.0	1.0	1.0						
	② 式	1.0	1.0							
成果指標	① 人	13,947	6,870	7,077						
	② 千円	145,048	71,448	73,600						
総事業費 C (A+B)	千円	7,290	2,390	4,900						
直接事業費 A	千円	4,490	990	3,500						
人件費 B	千円	2,800	1,400	1,400						
内訳	従事職員数	人	0.4	0.2						
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	2,245	495	1,750					
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	5,045	1,895	3,150						

評価 (CHECK)

評価項目	内 容
・事業の緊急性・必要性はありますか。	平成25年4月に発行が始まったしまとく通貨事業は、認知度の高さに欠けるため、売り上げが低迷している。このため、事業の目標達成に向けて、町単独でのPR事業の展開と利用促進活動が不可欠な状況となっている。
・事業の対象・目的は適切ですか。	しまとく通貨事業の目的である、長崎の島のPRによる観光客の増加と、消費拡大による地域経済活性化を達成するためにもこの事業が必要である。
・町が税金を投入して行う必要がありますか。	しまとく通貨事業の事業目的は、長崎県の島の活性化を目的としたものであり、事業実施が不可欠である。
・事業を行わない場合の影響はありますか。	積極的に事業のPRと来島者のサポートをすることで、事業の認知度が高まり購入者が増加が期待できる。現状では、目標の達成が覚束ない。
・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	事業目的達成のため事業費であり削減できない。
・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	しまとく通貨事業は、観光客を誘致し、しまでの消費促進を図り、地域経済を活性化させることを目的としている。本事業の目的や利点、そして本町にその成果をもたらすため、PR活動や情報発信は重要であり、効果的に行う必要がある。(事業実施は離島活性化交付金の交付決定を条件とする。)
-------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>計画どおりに事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施期間を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を減額して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次		●	●		計画どおりに事業を実施する				事業内容を見直して事業を実施する				実施期間を見直して事業を実施する				事業費を減額して事業を実施する				類似事業と整理統合して実施する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画どおり実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画を見直して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>当分の間は実施しない</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次					次年度以降に計画どおり実施する				次年度以降に計画を見直して実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する				当分の間は実施しない
	1次	2次	3次																																											
	●	●		計画どおりに事業を実施する																																										
				事業内容を見直して事業を実施する																																										
				実施期間を見直して事業を実施する																																										
				事業費を減額して事業を実施する																																										
			類似事業と整理統合して実施する																																											
1次	2次	3次																																												
			次年度以降に計画どおり実施する																																											
			次年度以降に計画を見直して実施する																																											
			次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																											
			当分の間は実施しない																																											

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。